

大島中学校だより

# かがやき

令和6年1月22日発行

電話 025-594-3114

E-mail oshima-j@jorne.or.jp

## ～ 大中生、大航海へ出航！！ ～

校長 宮崎 次朗

新年を祝う1月1日元旦に起きた能登半島大地震。被災された全ての方々の多大なる苦しみ、一刻も早く解き放たれることを願うばかりです。

そして、大島中学校にとって特別な年がスタートしました。いよいよ3月の卒業式、終業式をもって大島中学校の歴史は完全に幕を閉じます。4月からは全員が新たなる校舎、仲間との生活が始まります。3年生は高校生になります。高校は勉強というよりも学問するところです。社会人になるための自分に必要な資質を高めるために、学問してください。

1, 2年生は、自分たちが新しい東頸中学校の1期生、2期生となること理解していますか。大島中のように先輩が築いてきた歴史と伝統を引き継ぐのではなく、『**自分たちが東頸中学校の歴史と伝統を創り上げ、後輩に残していく**』ということ、しっかりと意識していきましょう。

何が起こるか分からない激動の世の中、今だからこそ夢や希望をしっかりともち、一步一步着実に前に進むことの大切さを一段と強く感じています。

仲間と力を合わせ、新しい未来を切り開いていきましょう。心から応援しています。

### 統合に向けて

令和5年9月より3校の交流活動に取り組んでいます。12月19日には、新2,3年生とその保護者に向けた学校説明会が行われました。教育委員会、総合事務所、学校のそれぞれが、学習や部活動、PTA活動などについて説明しました。新入生説明会は1月31日に実施する予定です。





3校交流スキー教室 ～スキー授業・名刺交換～



3校交流授業 ～1年体育 バレーボール～

**秋の閉校記念事業を振り返って** 10月14日に閉校記念式典、記念柱除幕式、思い出を語る会が行われました。50年の歴史を振り返る生徒発表、上越教育大学大学院生による記念演奏など、地域の皆さんと一緒に大島中学校の歴史を振り返りました。また、年度末に記念誌を刊行し、区内全戸に配付予定です。今後も保護者・地域の皆様からの変わらぬご支援をお願い申し上げます。



式典～校歌斉唱



記念柱～1期生と50期生が除幕



思い出を語る会～記念演奏

## 2月・3月の予定

<2月>

- 5日(月) 1,2年生定期テスト③  
3年生定着度診断テスト
- 15日(木) 生徒総会 PTA総会
- 19日(月) 全校集会
- 20日(金) 1,2年生3校交流授業
- 21日(水) 3年生同窓会入会式  
全校卒業式練習開始
- 26日(月) 3年生を送る会
- 28日(水) 3校生徒会オンライン交流会

<3月>

- 4日(月) 卒業証書授与式予行
- 5日(火) 第50回卒業証書授与式
- 6日(水) 公立一般入試
- 13日(水) 3校交流球技大会
- 15日(金) 3学期終業式  
公立合格発表
- 3月下旬 校舎お別れ会(含離任式)

大島中学校だより

# かがやき

令和6年3月15日発行

電話 025-594-3114

E-mail oshima-j@jorne.or.jp

## 「ありがとう 大島中」～第50回卒業証書授与式～

令和6年3月5日（火）、大島中学校最後の卒業生が学び舎を巣立っていきました。今年は卒業生、在校生ともに新たな決意を胸に式に臨む姿がありました。厳かな中にも温かみのある心に残る式となりました。



### ◇ 学校長 式辞（抜粋） ～上越市立大島中学校長 宮崎 次朗～

6名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。先ほど皆さんに渡した卒業証書、これは特別な物です。その証書番号は、この学校の歴史の最後のあかしです。一生の思い出として大切にしてください。

皆さんが3年生となり、最高学年としてだけではなく、大島中学校最後の1年、閉校を迎える卒業生としての責任やプレッシャーは、大変だったと思います。しかし、皆さんはその全てを正面からしっかりと受け止め、1、2年生と力を合わせて、全力で答えてくれました。感謝の気持ちで一杯です。ありがとう。

大震災とともに始まった令和6年、自分の人生を振り返ってもこんなことがあるのか信じがたいくらい、世の中、何が起こるかわからない、先の見えない時代へと突入しているのを感じています。私が歩んできた人生における大きな経験の数に比べ、皆さんはたった15年間ですごい経験をしているのです。そして、乗り越えていく様子を記憶したのです。能登半島地震への義援金、ふるさとの福祉施設への贈り物など、行動することを学びました。そして、人々が互いに助け合うこと、優しさや気配りが、それを乗り越える最大の力となることを皆さんは経験したのです。これは、一生役立つ力の一つだと思います。この大島の地で学んだこと、育んだことを自信と誇りに、夢をもち、汗をかき、涙と感動で未来に突き進んでください。全ての皆様に重ねて感謝申し上げます。はなむけの言葉といたします。

◇ 在校生 送辞（抜粋） ～生徒代表 2年 丸山 玲哉～

今年は50回目で、大島中学校最後の体育祭でした。皆さんは、「大中感結」のスローガンのもと、閉校記念の体育祭をどのように盛り上げていくかを真剣に考え、体育祭準備に励んでいました。3年生が一丸となって、軍活動やパネル製作をリードし、積極的に行動されていた姿がとても頼もしかったです。全校17名が全力を出し切り、たくさんの保護者の方や、大島の地域の皆様と一緒に、素晴らしい体育祭を作り上げられたことを、これからも忘れることはありません。

4月からは高校生となり、新しい学校や友人、新しい環境の中で、困難に直面されることがあるかもしれませんが、しかし、進んで物事に取り組み、真剣に、そして明るくやり遂げていた先輩方の姿を見てきた私達は、何も心配していません。

皆さんが卒業してしまうのはとてもさみしいですが、一緒に学校生活を送ることができ、とても嬉しかったです。今まで本当にありがとうございました。私達も、4月から、東頸中学校の一員として、先輩方と大島で過ごした日々を胸に、新たな伝統をつくっていけるよう、全力で頑張ります。

◇ 卒業生 答辞（抜粋） ～生徒代表 3年 吉野 陽向～

3年前の春、新型コロナウイルス感染症の流行で活動が制限されている頃、不安が多くありましたが、先生方や先輩方が優しく声をかけてくださったおかげで少しずつ不安が和らいでいきました。

1年生の5月には、初めて自分たちだけ企画した教育実習生のお別れ会がありました。まだ、緊張が残っており、どのように企画を立てれば良いのかわからずに、準備が遅れ、お別れ会は大成功とはいきませんでした。しかし、この経験があったからこそ、体育祭のフィナーレ練習や新入生説明会を企画するとき、先を見通して自分たちで企画を立てられるようになりました。

2年生では、中学生として初めての後輩ができ、先輩としてリードしたり前に立ったりする機会が増えていきました。自分たちで考え、行動することが多くなりました。

3年生になり、最高学年として、そして大島中最後の1年というプレッシャーを背負い、全校を引っ張っていけるか不安でした。大島中学校最後となる閉校記念体育祭。スローガン「大中感結」に向けて競技を企画しました。3年生一人一人がリーダーとなり、やりたい事にどんどん挑戦していくことを目標に、準備に取り組みました。大島中最後の体育祭はグラウンドでやりたいという願いを実現するために、少ない人数でどう盛り上げるかなど多くのことを考えました。フィナーレは、衣装の背中に文字を書き、全校生徒が並ぶとメッセージが完成するよう工夫しました。閉校は終わりではなく新たなスタートだという想いを伝えられたと思います。保護者の方や地域の人にも楽しんでいただき、入場からフィナーレまで大成功に終えることができました。

農業体験で機械に乗せていただいたり、おおしま音楽祭で一緒に合唱させていただいたり、地域の皆さんのおかげで学校ではできない体験をすることができました。私たちは大島っ子でよかったと心から思っています。

大島中学校は今月で閉校を迎えます。この大島中50期生であること、大島中最後の卒業生であることを、私たち6名の誇りにし、力強く歩んでいきます。

大島中学校最後の卒業式と3学期の終業式を終え、大島中学校の教育活動を終わりました。卒業生との写真撮影は、卒業生、在校生の笑顔が溢れ、和やかに卒業を祝う歓送となりました。最後となる寂しさや未知の世界に一步踏み出す不安もありますが、それを乗り越えるための力を蓄えることができた1年だったと感じました。令和6年3月31日に閉校を迎えます。保護者の皆様、地域の皆様からいただいた力強いご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。4月からも引き続き、子どもたちをよろしくお願ひいたします。

令和6年 3月15日 大島中学校職員一同